

## 輸送する貨物について十分な知識がありますか？

こちらは、英文記事「[Do we know enough about the cargoes we carry?](#)」（2020年1月28日付）の和訳です。



船員が粒径を判断することは不可能かもしれません。しかし、水分含有量が高いことを示す兆候に目を配ることは可能です。

IMSBC コードの付録3の第2節には「微粒子貨物の多くは、相当高いと思われる水分を含有していると、流動化を起こしやすい」という記載があります。この中には、船員が注意を向けるべき、液状化に関連する重要な要素が2つあります。1つは貨物の微粒子径、もう1つは高含水率（すなわち、貨物の水分値が輸送許容水分値（TML）を超過しているか）です。IMSBC コードでは、貨物の個別スケジュール上には粒径分布に関する記載がありますが、そのコードの中に「微粒子（fine particle）」の正確な基準値は定義されていません。その上、実際に船員が積み込み中の貨物の粒径を判断し、それをIMSBCのスケジュールと照らし合わせることは非現実的でしょう。現実的な方法は、過剰な水分の存在を示す視覚的に顕著な兆候を見つけることです。一般的に推奨される缶テストや、貨物の飛び散る音に注意する方法と同じく基本的なことですが、**慎重に目を配る船員**がいればいくつもの命を救える（あるいは救うことができた）はずです。

過剰な水分を含んだ貨物を積載するリスクを減らすために、船主、管理者、船員は次のような予防措置を実施するとよいでしょう。

- 荷送人が提示した水分値に関する文書類が正確であることを確認する。荷送人の申告や証明書が不正確なことが依然として問題の核心となっていると思われます。
- 疑わしい点があれば、水分値（MC）の再テストを要請する。
- ストックパイルの確認を行う。ただし、実行が難しい港が多数あるかもしれません。
- 積み込み時にサーベイヤーを手配する。
- 貨物の専門家の助言を得る。

## 追加情報

[液状化に関する Gard の発行物（2014年）\[英文\]](#)

[石炭貨物の液状化を対象とした国際海上固体ばら積み貨物コード（IMSBCコード）の新規定](#)

[インドネシアのニッケル鉱輸出が再開 - 液状化リスクへの対応](#)

[グループ A と C ポーキサイトに関する新たな試験方法と関連規則の草案](#)

[液状化するおそれのある貨物（ポーキサイトなど）の積み込み](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。